



**苫小牧市**

所属議員

牧田俊之

**産業目線**

【活動選定項目】	<b>① カーボンニュートラル(CN)への対応</b>	
具体的取組項目	カーボンリサイクルに係る技術調査事業の実証試験への移行 ・キーテクノロジーのメタネーション等の実証試験誘致 ZEH〔ネットゼロエネルギーハウス〕の推進	
前回まで 活動状況	① 9月議会 代表質問取り上げ・令和5年度予算編成及び市政執行に関する政策要望・提言〔会派要望〕 代表質問：ゼロカーボンシティ実現に向けての具体的な取り組み内容について質疑 会派要望：脱炭素社会の実現に向けた施策の取組〔SAF・メタネーションについて〕	
今回 具体的活動	<p>【12月議会】 一般質問</p> <p><b>ゼロカーボン</b></p> <p>・<b>脱炭素先行地域選定について</b>                  第2回目の選定の結果公表の市の受け止めについて、残り2か月ほどとなったが次回の応募について                  ：施設対象規模が多い提案が多かった。産業部門と密接に連携した取り組みはなかった。産業集積地域の取組が評価されることを期待している。応募については3回目及び4回目を視野に向けて検討している。産業部門との連携や、一般家庭などを対象とし、かつ地域課題の解決につながる取組について関係者と協議・検討を行っている。</p> <p>・<b>水素について</b>                  苫小牧市の水素への取り組み、向き合い方を伺いたい                  ：水素に関わる実証事業が進められており、自動車等への燃料や産業部門等において活用するケースなど様々な方策が検討されている。再生可能エネルギーの潜在能力を生かした水素製造は他市と比較して大きな強み。地元産業の振興につなげたいと考えている。</p> <p>・<b>ZEHについて</b>                  ：来年度から ZEH 補助については、重点対策加速化事業を活用検討している。戸建て住宅1戸当たり55万円、太陽光発電設備 1kw あたり7万円、蓄電池 1 kWh あたり最大5万円と設定されている。</p> <p>・<b>環境基本計画について</b>                  2030 年目標達成に向けて                  ：家庭部門については、石油燃料由来を再エネ由来のエネルギーに転換することが重要。運輸部門については旅客用自動車 31%貨物自動車 32%船舶 36%と再エネ電力や水素を活用した車両への転換や、カーボンニュートラルポートとの連携といった、物流拠点都市としての取り組み検討をしていく必要がある。</p>	 <p style="text-align: center;">一般質問 12月1日</p>  <p style="text-align: center;">苫小牧駅前イルミネーション</p>
今後の活動	・水素・カーボンリサイクル取組働きかけ ・再生可能エネルギー実証の推進	<p style="text-align: center;">トピックス</p> ① 第10幕とまこまいコスプレフェスタ開催11月5日～6日 ② TOMAILLU SQUARE 2022 点灯 12月1日～2月14日